

教科 科目名	保健体育科	学年・科目群	3学年・選択	この科目ではニュースポーツや様々な運動について学び、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を育成することを目指します。
	生涯スポーツ	単位数(年間授業時数)	3単位(105時間)	

学習目標 ～科目で身に付けられる「ちから」～			体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
三つの柱	(1)	知識及び技能	(1) スポーツの多様な意義 やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、スポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付ける。
	(2)	思考力・判断力・表現力等	(2) スポーツの推進及び発展に必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
	(3)	学びに向かう力、人間性等	(3) 生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための課題研究に主体的に取り組む態度を養う。
教科書材	【教科書】なし 【副教材等】なし		
ポイント	・礼節を重んじ、相手を尊重し、態度よく、謙虚な姿勢で意欲的に取り組むこと。 ・実技の際は必ず、体育用指定ジャージ・白無地または、紺無地のTシャツ、クラスTシャツ・運動靴を用意すること。 ・迅速な集団行動を心掛けること。 ・実技の際は指定の服装に着替え、教室・体育館・格技場・グラウンド等、講義・各種目に応じた授業場所に時間厳守で集合すること。		
学習計画	評価の観点		
	a	知識・技能	生涯にわたって運動を豊かに継続するために、スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。
	b	思考・判断・表現	スポーツの推進及び発展に必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者にわかりやすく伝えることができる。
	c	主体的に取り組む態度	生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための課題研究に主体的に取り組むことができる。

学期	月	単元名	学習内容	このように学ぶことで...	こんな力が身に付きます	評価の方法	時数	
前期	4	オリエンテーション 体づくり運動	・体力について知識を深める ・体づくり運動実践	体力について理解し、各力を高めるための運動を自ら考え生活に生かすことができるようになる。	未来を見通す力	知 ワークシート 思 ワークシート 主 活動の様子や相互評価記録	8	
	5	スポーツ実践①	・アルティメット ・ターゲットゴルフ	ニュースポーツに触れ、新たなスポーツの楽しさを知ることができる。	協働する力・他者を思いやる力	知 ルール理解 思 ワークシート 主 活動の様子や相互評価記録	8	
	6		・ボッチャ ・モルック ・バレーボール	ニュースポーツに触れ、新たなスポーツの楽しさを知ることができる。	未来を見通す力・協働する力	知 ルール理解 思 ワークシート 主 活動の様子や相互評価記録	12	
	7		・バレーボール ・ビーチバレーボール	環境の違いなど条件が違う中でのスポーツに触れ、新たなスポーツの魅力を感じることができる。	探究する力	知 ルール理解 思 ワークシート 主 活動の様子や相互評価記録	9	
	8		・フットゴルフ ・パークゴルフ	似たルールのスポーツでも、物や身体の違いで新たなスポーツになることを理解することができる。	創造する力	知 ルール理解 思 ワークシート 主 活動の様子や相互評価記録	9	
	9		・その他ニュースポーツ	ニュースポーツに触れ、新たなスポーツの楽しさを知ることができる。	協働する力・他者を思いやる力	知 ルール理解 思 ワークシート 主 活動の様子や相互評価記録	12	
	10	スポーツ実践②	・トーナメント、ドローの作り方 ・リーグ戦の仕組み・組み方 ・スポーツ創造、運営	スポーツ大会の運営の仕方を理解し、自らスポーツ大会を運営することができる。	協働する力・創造する力	知 ワークシート 思 ワークシート 主 活動の様子や相互評価記録	15	
	11 12		・スポーツ創造、運営	スポーツを創造し、自らスポーツ大会を運営することができる。	協働する力・創造する力	知 ワークシート 思 ワークシート 主 活動の様子や相互評価記録	15	
	12	スポーツ実践③ まとめ	・コーディネーショントレーニング ・まとめ	年代に応じた運動の仕方等を理解し、生涯を通じた運動実践に役立たせることができる。	未来を見通す力	知 ワークシート 思 ワークシート	17	
1	主 活動の様子や相互評価記録							
								105
教科横断	単元	体づくり運動、スポーツ実践③	ゴールデンエイジと呼ばれる身体機能が発達しやすい時期においての運動について、保育の視点を踏まえながらメニューを考えたり、理論を学ぶ。					
	関連	保育基礎						